



いにしえから受け継いだ伝統に、  
新たな息吹を吹き込む

## 愛知県無形文化財「吉浜細工人形」

### “撮っておき” の たかはま 【第11回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

細工人形の歴史や制作のようすを収めたDVD「吉浜細工人形」(約20分)が、吉浜まちづくり協議会の拠点施設「吉浜ふれあいプラザ」(☎52-1101)で無料貸出されています。

「退職後、何か地域のために役立ちたいと思ひまして。」「幼いころから“吉浜といえば細工人形”という想いもありますしね。」と語る吉浜細工人形保存会の鈴木英嗣さんと都築寿夫さん。会に入って10年近く。先輩からの教えを受け、年々、任される作業も増えてきた。

吉浜細工人形は全国的にも珍しい等身大の人形で、約350年の歴史を持つといわれているが、その起源には諸説がある。現在では、柳池院・宝満寺で毎年5月に開催される「花の塔」にあわせて約1か月がかりで制作され、奉納・公開されている。題材は歌舞伎や故事の名場面などから選ばれる。細く割いた竹にわらを巻きつけて胴殻(人形の骨組み)を組み立て、貝殻や木の実などの身近な自然物を彩りよく飾りつける作業は、根気も必要だ。かつては、吉浜地区の住民たちが総力をあげて制作し、“農民芸術の最高峰”とも称されていた。

「人形のできばえは姿かたち、衣装や量感を表現する胴殻に左右されるといっても過言ではありません。また、題材の時代に合っているかどうかの検証も欠かせません。」と語る2人。人形の見た目の華やかさの裏側には、先人たちがこれまでに積み重ねてきた歴史や技が奥深く潜んでいる。県無形文化財に指定されて今年で50年。あくなき探究心を持ち、伝統に新たな息吹を吹き込もうと努力が重ねられている。

# LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!

広報 **たかはま**

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ  
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110  
<http://www.city.takahama.lg.jp/>  
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。

VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。